

2025年度 JANPU

2025年6月26日(木) 19:00~
6月30日(月) 13:00~



e-learning 教材活用セミナー 感染症パンデミックにおける看護活動

健康危機管理教材作成・運用検討委員会

The image displays two promotional cards for nursing activities. The left card is titled '大規模災害における看護活動' (Nursing activities in large-scale disasters) and features a rabbit mascot reading a book. The right card is titled '感染症パンデミックにおける看護活動' (Nursing activities during an infectious disease pandemic) and features a rabbit mascot holding a book. Both cards include an 'On Air' banner, the logo of the Japan Association of Nursing Programs in Universities (JANPU), and a '無料' (Free) button.

On Air

大規模災害における看護活動

一般社団法人
日本看護系大学協議会
Japan Association of Nursing Programs in Universities

大規模災害における看護活動

Learning 無料

On Air

感染症パンデミックにおける看護活動

一般社団法人
日本看護系大学協議会
Japan Association of Nursing Programs in Universities

感染症パンデミックにおける看護活動

Learning 無料

感染症パンデミックの想定

新型インフルエンザ（学習用の想定）

今回の学習では、次の**架空の新型インフルエンザ**を想定します。

20XX年9月
○国で原因不明の重症肺炎患者が増加、
全世界に拡大



20XX年10月
世界保健機関（WHO）が
パンデミックを宣言

現在までのWHOからの発表内容

- 新型インフルエンザの型：A型H1N1
- 潜伏期間：5～7日
- 感染経路：主にヒトからヒトへの飛沫感染であるが、空気感染の事例がある
- 感染期間：発症2日前から発症後5日
- 従来の抗インフルエンザ薬やワクチンの有効性は明らかではない
- 重症肺炎からの死亡例が確認され、致死率は1～10%程度と推定



感染症パンデミックにおける看護活動 5単元・22項目

単元	項目
単元1 外来における個人・家族への支援	項目1 保健所への相談と発熱外来受診・患者の誘導 項目2 外来看護師による緊急のアセスメント 項目3 医師の診察・検査の支援と入院の調整 項目4 入院に関する本人・家族への説明
単元2 入院における個人・家族への支援	項目1 外来からの情報を元に、感染症病床の準備を行う 項目2 患者をストレッチャーで外来から、病床まで連れてくる 項目3 病室での対応と患者への説明 項目4 安楽な呼吸と排痰法の援助を行い、PPEを脱いで病室をでる 項目5 高齢患者の個室入院で必要な看護問題を考える
単元3 施設における個人・家族への支援	項目1 保健所等の連絡を受けて入所者の健康状態を観察し、情報を整理する 項目2 感染症の疑いがある入所者からの感染を防ぐ 項目3 職員の健康状態を判断して感染拡大予防とケアの継続をはかる 項目4 対策本部の構築と検討すべき対応 項目5 急変し、死亡した入所者の家族への対応
単元4 保健所における個人・家族への支援	項目1 感染症発生届を受けた後の保健所の対応と保健師の役割 項目2 積極的疫学調査の実際 項目3 濃厚接触者の特定と感染拡大のリスクの判定 項目4 関係機関・施設とのリスクコミュニケーション 項目5 濃厚接触者の健康観察
単元5 在宅における個人・家族への支援	項目1 濃厚接触者がいる家庭への訪問準備 項目2 近所への配慮と感染対策した家庭訪問の準備 項目3 家庭内のゾーニングと感染防止のための家族への指導

教材の活用方法の例

- 科目、授業テーマに合わせて教材全体、あるいは一部を選び、授業内で使う
- 授業の予習・復習課題とする
- 実習前の予習課題とする

授業における教材の活用例

- 科目名：公衆衛生看護学対象論Ⅱ
 - 「積極的疫学調査の実際」
 - 「濃厚接触者の特定と感染拡大のリスクの判定」
- 対象：看護学部保健師課程 4年生 30名
- 学習目標
 - 積極的疫学調査の流れを説明できる
 - 積極的疫学調査における保健師の基本姿勢を説明できる
 - 積極的疫学調査の結果から、濃厚接触者を特定できる
 - 重症化リスクのある対象者を特定できる
 - 患者および濃厚接触者の行動調査から感染が広がる可能性を予測できる

感染症パンデミックにおける看護活動 5単元・22項目

単元	項目
単元1 外来における個人・家族への支援	項目1 保健所への相談と発熱外来受診・患者の誘導 項目2 外来看護師による緊急のアセスメント 項目3 医師の診察・検査の支援と入院の調整 項目4 入院に関する本人・家族への説明
単元2 入院における個人・家族への支援	項目1 外来からの情報を元に、感染症病床の準備を行う 項目2 患者をストレッチャーで外来から、病床まで連れてくる 項目3 病室での対応と患者への説明 項目4 安楽な呼吸と排痰法の援助を行い、PPEを脱いで病室をでる 項目5 高齢患者の個室入院で必要な看護問題を考える
単元3 施設における個人・家族への支援	項目1 保健所等の連絡を受けて入所者の健康状態を観察し、情報を整理する 項目2 感染症の疑いがある入所者からの感染を防ぐ 項目3 職員の健康状態を判断して感染拡大予防とケアの継続をはかる 項目4 対策本部の構築と検討すべき対応 項目5 急変し、死亡した入所者の家族への対応
単元4 保健所における個人・家族への支援	項目1 感染症発生届を受けた後の保健所の対応と 保健師の役割 項目2 積極的疫学調査の実際 項目3 濃厚接触者の特定と感染拡大のリスクの判定 項目4 関係機関・施設とのリスクコミュニケーション 項目5 濃厚接触者の健康観察
単元5 在宅における個人・家族への支援	項目1 濃厚接触者がいる家庭への訪問準備 項目2 近所への配慮と感染対策した家庭訪問の準備 項目3 家庭内のゾーニングと感染防止のための家族への指導

授業の展開

時間	内容	方法
5分	授業の目的、概要を説明	
15分	単元1 外来における個人・家族への支援 ～外来に発熱患者がやってくる～ 項目1 新型インフルエンザ疑い患者の保健所への相談と感染症外来受診時の誘導	<ul style="list-style-type: none">• 新型インフルエンザと佐藤さん一家の紹介 (スライド14枚目) まで視聴
30分	単元4 保健所における個人・家族への支援 ～協力して地域への感染拡大を防ごう！～ 項目2 積極的疫学調査の実際	<ul style="list-style-type: none">• 教材を視聴• 考えてみようの質問を隣同士で話し合い、答えてもらう• 解説を視聴、教員が一部補足
30分	単元4 保健所における個人・家族への支援 ～協力して地域への感染拡大を防ごう！～ 項目3 濃厚接触者の特定と感染拡大のリスクの判定	
10分	まとめ	



単元 1 外来における個人・家族への支援 －外来に発熱患者がやってくる－

項目1 新型インフルエンザ疑い患者の保健所への相談と 感染症外来受診時の誘導

情報提供：新型インフルエンザとは

- インフルエンザは、**インフルエンザウイルス**による感染症である。
- インフルエンザウイルスはRNAウイルスであり、A、B、Cの3つの型がある。

季節性 インフルエンザ

季節性インフルエンザは世界中に常時存在し、季節的に流行を起こすヒトに感染し流行するのは、A型とB型である

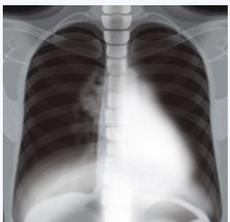
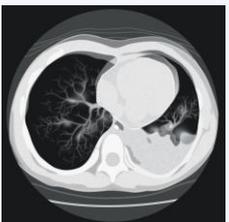
新型 インフルエンザ

新型インフルエンザは、季節性インフルエンザウイルスとは抗原性が大きく異なる新型ウイルスによって起こり、約10年から40年の周期で発生している

ほとんどの人が新型インフルエンザウイルスに対する免疫を獲得していないため、**世界的流行（パンデミック）**となり、大きな健康被害とこれに伴う社会的影響が懸念されている。

情報提供：新型インフルエンザとは

新型インフルエンザの診断に用いられる検査

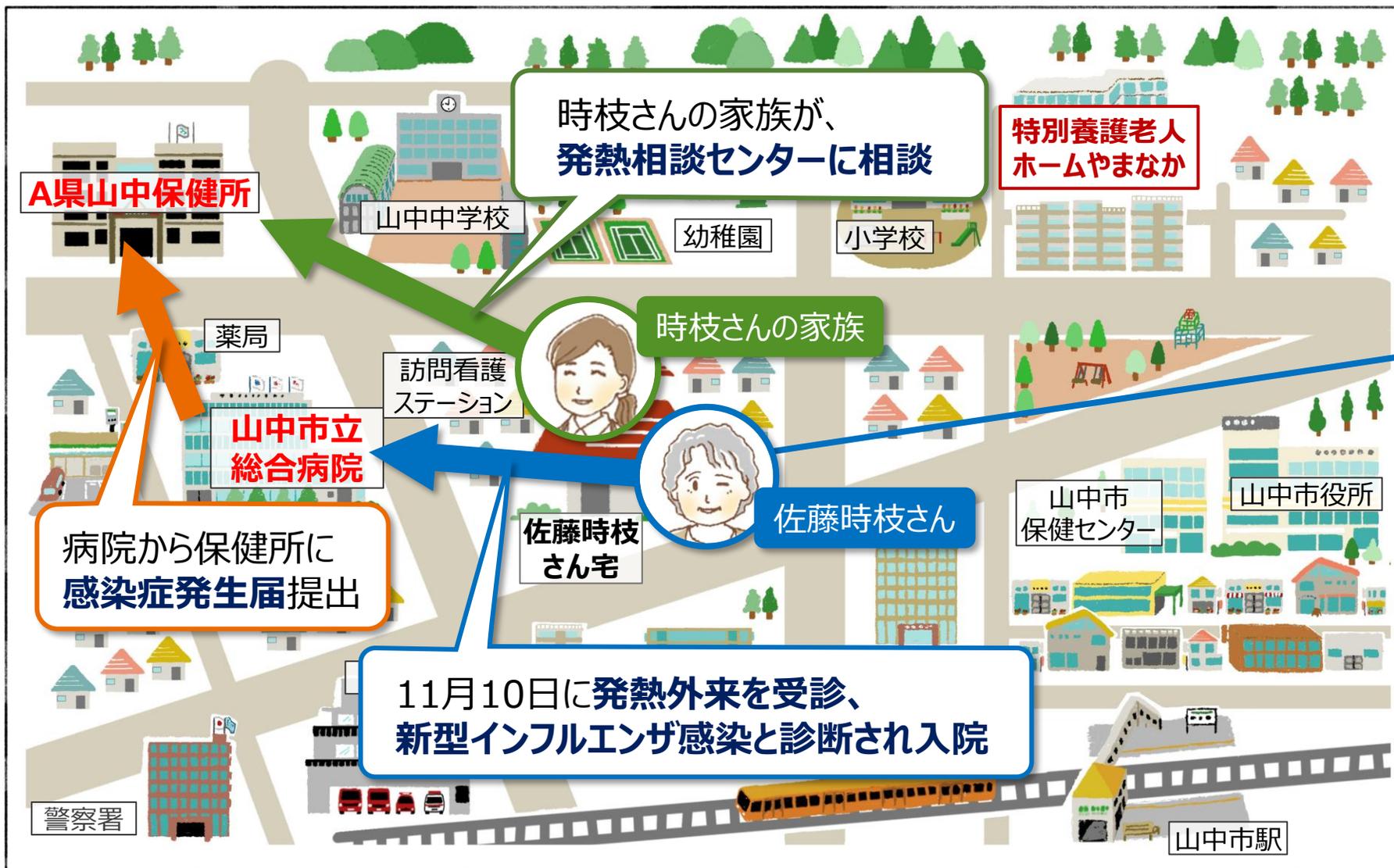
	項目	概要
ウイルス検査	• 迅速抗原検査 	• 検体中のインフルエンザウイルスの表面に存在するタンパク質（抗原）を検出
	• PCR（Polymerase Chain Reaction）検査	• 検体中のインフルエンザウイルスの遺伝子を、数千万倍に増やして検出
画像診断	• 胸部X線 • CTスキャン  	• ウイルス性肺炎や二次性細菌性肺炎を合併することがあるため、肺炎の有無を確認するために実施
血液検査	• WBC、CRP、PCT（プロカルシトニン）、LDH、IL-6、D-ダイマー等	• 細菌・ウイルス感染の鑑別、重症度の判定、予後の推測を行うために実施



単元4 保健所における個人・家族への支援 ～協力して地域への感染拡大を防ごう！～

項目2 積極的疫学調査の実際

事例の情報：山中市中心部の地図



WHO
新型インフルエンザ
パンデミックを宣言

- 「佐藤時枝さん」が、**新型インフルエンザに感染**
- 11月8日より発熱
 - 10日、市立総合病院で、**新型インフルエンザ感染の診断、入院**
 - 特別養護老人ホームやまなか併設のデイサービス施設を利用していた

**積極的疫学調査は、
どのような目的で行いますか？**



考えてみよう1 解説：積極的疫学調査の目的

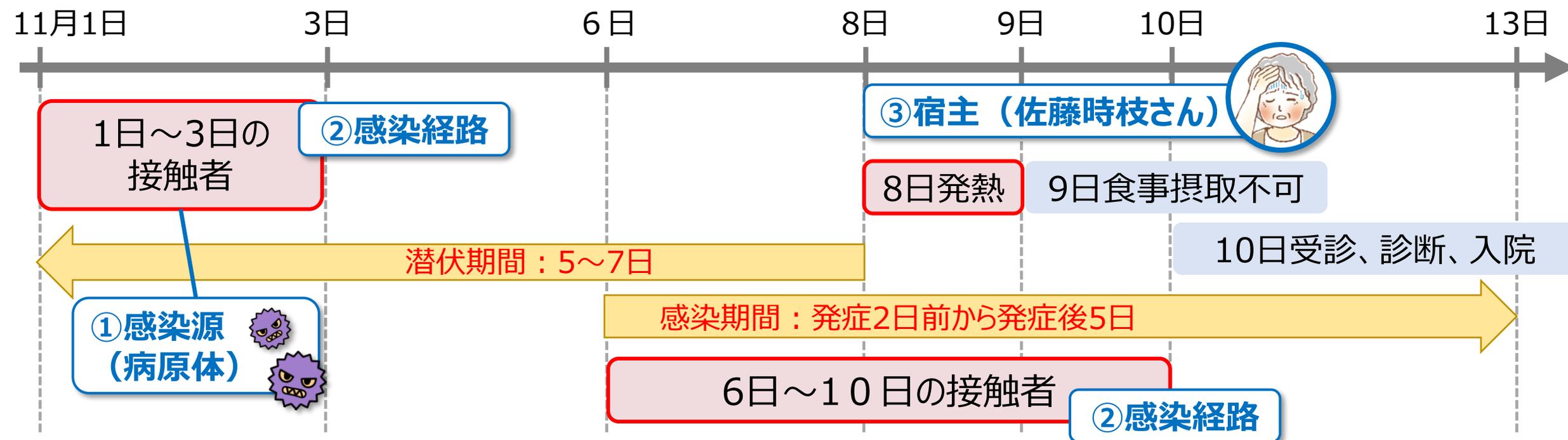
積極的疫学調査の目的

感染源、感染経路など状況を確認し、感染拡大の防止対策を行う

感染成立の
3要因と感染対策

感染症：①病原体（感染源） ②感染経路 ③宿主の3つの要因が揃うことで感染

感染対策：3要因のうちひとつでも取り除くことが重要





時枝さんは、現在、入院中です。
**どのような点に留意して、
積極的疫学調査を行いますか？**



考えてみよう2 情報提供

電話をかけて情報を把握する際の留意点

患者が入院中の場合は家族へ情報収集を行う

1 関係性を構築する

2 相手の状況を理解する

3 相手の心情や体調に配慮しながら、協力を依頼する





別記様式 No.

新 型 イ ン フ ル エ ン ザ 発 生 届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第8項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 ● 年 11 月 10 日

医師の氏名 山田 太郎

従事する病院・診療所の名称 山中市立総合病院

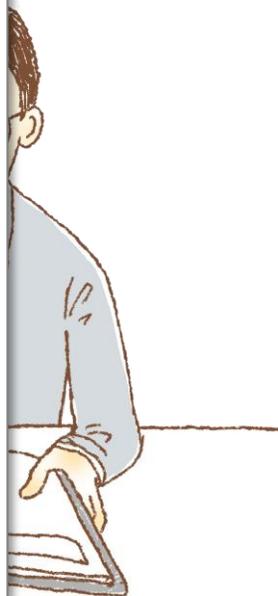
上記病院・診療所の所在地(※) 山中市

電話番号(※) (01) 2345 - 6789

(※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の種類					
患者（確定例） ・ 無症状病原体保有者 ・ 疑似症患者 ・ 感染症死亡者の死体 ・ 感染症死亡疑い者の死体					
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
佐藤 時枝	男・女	● 年 10 月 10 日	78 歳 (1 か月)	なし	
7 当該者住所 山中市中央区 1-2-3			電話 (01) 1234- 5678		
8 当該者所在地 同上			電話 () -		
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)				
	電話 () -				

11	発熱 ・ 咳 ・ 咳以外の急性呼吸器症状 ・ 下痢 ・ 重篤な肺炎 ・ 多臓器不全	18 感染原因・感染経路・感染地域
		①感染原因・感染経路 (確定・推定) 飛沫・飛沫核感染 (感染源の種類・状況)



+ 書類を拡大する

考えてみよう3 積極的疫学調査のシミュレーション

5 調査開始

それでは、これからいくつか質問させていただきます。
途中で体調がお辛くなったり、少し休みたいなどがあれば遠慮なくお知らせください。

はい、わかりました。

「時枝さんの体調の変化がいつからあったか」によって行動をお尋ねしたい日にちが変わっていきますので、まずは症状が最初に出た日を教えてください。

11月8日に熱がでました。

11月8日に熱が出たのですね。
その後はどのような症状が出ましたか？





単元4 保健所における個人・家族への支援 ～協力して地域への感染拡大を防ごう！～

項目3 濃厚接触者の特定と感染拡大のリスクの判定

考えてみよう1 質問：濃厚接触者と重症化リスクのある対象者

積極的疫学調査の結果、時枝さんの同居家族は、6人であることがわかりました。
この6人のうち、**濃厚接触者と重症化リスクのある対象者**について考えてみましょう。



佐藤時枝さん

11月8日に発症（入院中）

時枝さんの同居家族

時枝さんの夫



佐藤博さん

80歳（無職）

- 肺気腫で酸素を使用
- 訪問看護を利用1回/週

時枝さんの長男



佐藤明さん

50歳（会社員）

- 1か月間、出張中

長男の妻



佐藤弘子さん

45歳（飲食店勤務）

時枝さんの孫



佐藤一郎さん

15歳（中学生）

時枝さんの孫



佐藤かおりさん

11歳（小学生）

時枝さんの孫



佐藤次郎さん

5歳（保育園児）

考えてみよう1 情報提供：濃厚接触者の判断基準

新型インフルエンザの濃厚接触者の判断基準

ア. 同居者

患者と同居する者。

イ. 医療関係者

患者の診察、処置、搬送等に個人防護具（マスク等）の装着なしに直接携わった医療関係者や搬送担当者。

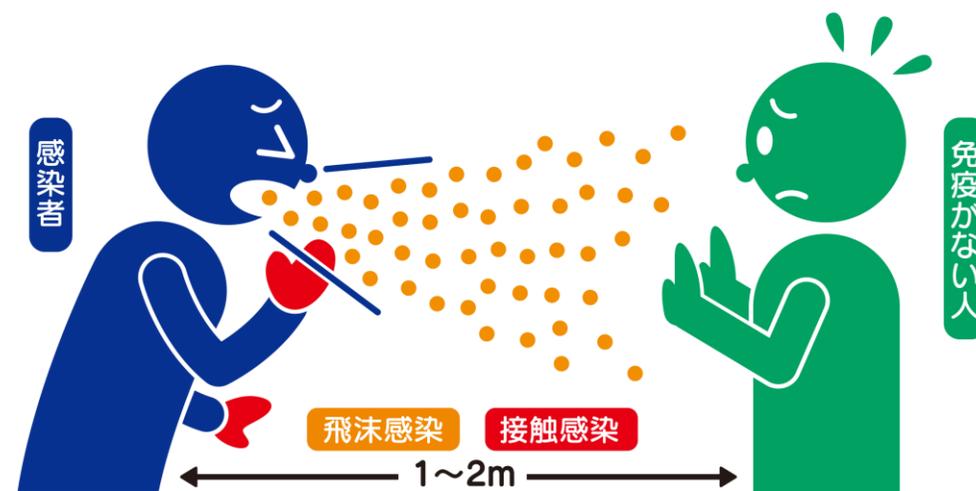
ウ. 汚染物質への接触者

患者由来の体液、排泄物などに、個人防護具の装着なしで接触した者。具体的には個人防護具なしで患者由来検体を取り扱った検査従事者、患者の使用した化粧室、洗面所、寝具等の清掃を行った者等。

エ. 直接対面接触者

手で触れること、会話することが可能な距離で、患者と対面で会話や挨拶等の接触のあった者。

※接触時間は問わない。勤務先、学校、医療機関の待合室、会食等での近距離接触者等が該当する。



考えてみよう1 解説：濃厚接触者の判断基準

対象者	 博さん	 明さん	 弘子さん	 一郎さん	 かおりさん	 次郎さん
ア. 同居者						
イ. 医療関係者	—	—	—	—	—	—
ウ. 汚染物質への接触者						
エ. 直接対面接触者						

考えてみよう1 解説：濃厚接触者の判断基準

対象者	 博さん	 明さん	 弘子さん	 一郎さん	 かおりさん	 次郎さん
ア. 同居者	○	○	○	○	○	○
イ. 医療関係者	—	—	—	—	—	—
ウ. 汚染物質への接触者	○	—	○	○	○	○
エ. 直接対面接触者	○	—	○	○	○	○

クイズ

このオブジェクトを編集するには、 **クイズ** ボタンをクリックしてください

クイズ

新型インフルエンザ患者が発生しました。地域への感染拡大を防ぐために、保健所保健師は、何をしたら良いでしょうか。

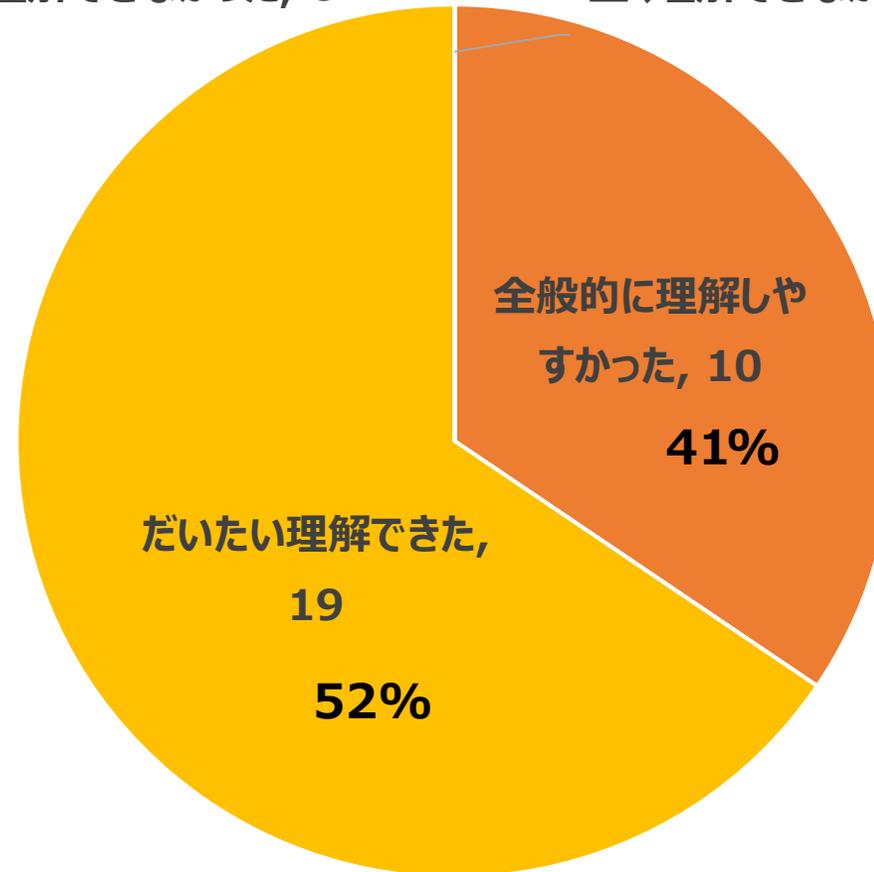
- 1. 患者の同居家族で、2週間前から出張している者も濃厚接触者であると説明する
- 2. 濃厚接触者には、外出を控えるよう依頼する
- 3. 新型インフルエンザの潜伏期間を考慮して、患者の家族の健康状態を観察する
- 4. 患者の家族の職場や利用施設、学校等の体調不良者の情報を把握する

学生からの授業評価：この教材は理解しやすかったですか

あまり理解できなかった, 0

全く理解できなかった, 0

N = 29

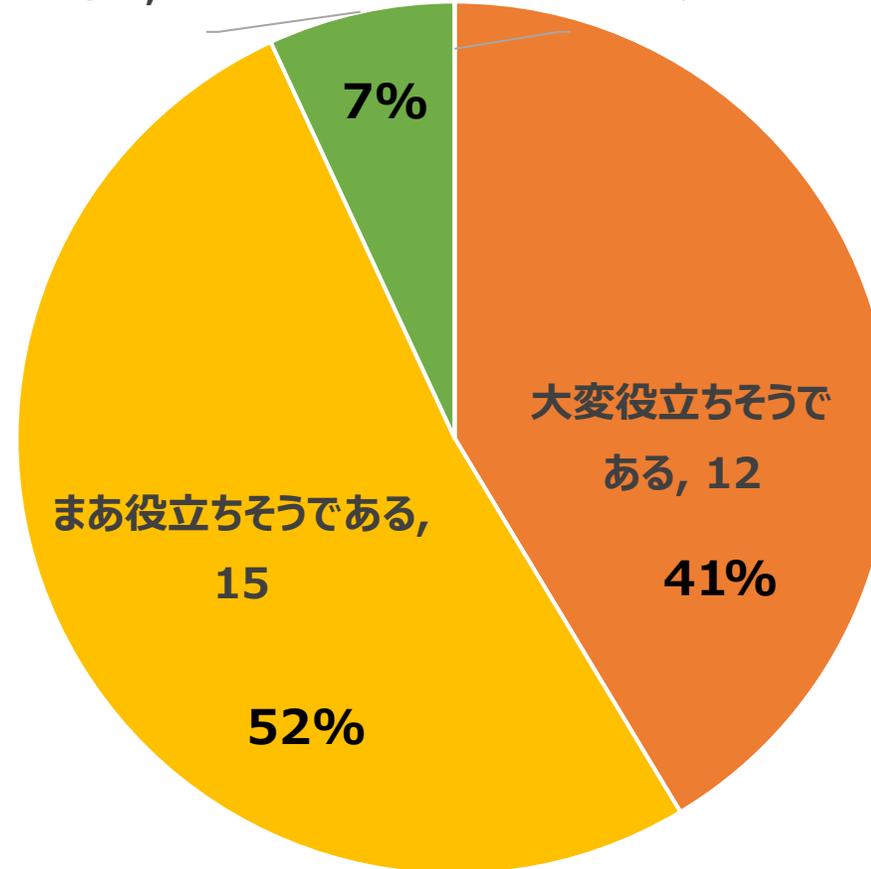


学生の意見：この教材はあなたの学習に役立ちそうですか

あまり役立ちそうには思わない, 2

全く役に立つとは思わない, 0

N = 29

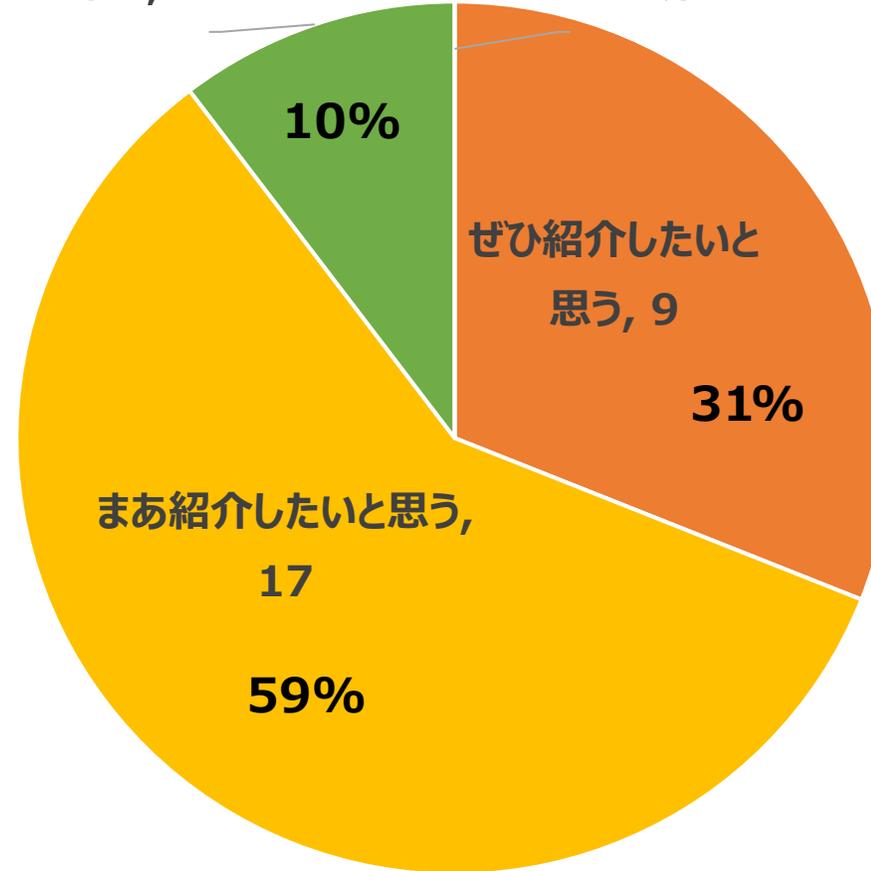


学生の意見：この教材を友達や後輩に紹介したいと思いますか

あまり紹介したいとは思わない, 3

全く紹介したいとは思わない, 0

N = 29



学生の意見：教材の内容について

- 積極的疫学調査の目的や意味は知っていましたが、実際に保健師がどのように関わるのか理解することができました。
- 積極的疫学調査がどんなものなのかすごく分かりやすかったです。
- 積極的疫学調査は感染拡大を防ぐために行い、感染経路などを確認するためにも重要な調査ということがわかり、情報を収集することの意義を感じた。
- 保健師の電話での調査の場面では、留意点なども詳しく説明されており、実際にどのような内容を話すのかも具体的に解説されていたので大変学びになりました。
- インフルエンザなど身近にもある事例だったので、人々の生活に密接につながっているのだなと実感することができた。
- AIの人声はなんとなく聞きやすいが慣れていないからか頭に入ってくる感じがしなかった。ほぼ全部が読み上げ機能を使った授業だったので少し集中しづらかった。

学生の意見：授業の方法について

- 事例を交えて考えるワークが多く、聴いているだけの講義よりも自分の考えが深まった。他者の意見を聴いて自分では考え付かなかったことを知ることができて、学びが深まったと感じた。
- クイズ形式で振り返りながら学ぶことができた。事例がわかりやすく、イラストで学べたため、積極的疫学調査の目的や流れについて理解することができた。
- 具体的な例とともに、考えることができることがよかったです。ワンステップずつクイズがあったので、どんどん先に進んじゃうということがなく理解しやすかったです。
- クイズが要所ごとに設けられていたので、インプットとアウトプットがセットになっており、効果的に学べると感じたし、知識の定着の上で有用な構成だと感じた。